

2019.12

高大連携歴史教育研究会 関係各位

高大連携研第二部会部会長 小浜正子
副部会長 川島啓一

第二部会「教材共有サイトの活用事例」研究会のご案内

冬のひだまりがことのほか暖かく感じられる寒冷の候、高大連携歴史教育研究会の皆様にはそれぞれご活躍のことと存じます。

夏の札幌大会以降、第二部会で運営している高大連携研の教材共有サイトに新たな教材がアップロードされれば、その都度、会員のみなさまへ通知するシステムを運用いたしました。パスワードの入力によって教材などのダウンロードをして頂けるようになっていきます（一覧の閲覧はパスワードなしでも可能。URL は <https://kodai-kyozai.org/>）

さて、第二部会では昨年に引き続きまして、サイトの教材を使った授業実践などを報告して経験を共有する研究会を企画しました。教材共有サイトの成果とこれからの課題についても議論したいと存じます。ぜひ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

日時：2020年1月12日（日）13:00～17:00

場所：日本大学文理学部7号館2階7204教室（東京都世田谷区桜上水 3-25-40）

（京王線下高井戸駅より徒歩8分 <https://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>）

共催：日本大学文理学部人文科学研究所総合研究

「20世紀の諸地域における統治体制と社会の相互関係をめぐる諸相」

【報告】

- ・川崎一輝（京都・同志社中高）
「モンゴル襲来についての実践について－教材サイトの問いと資料の活用について－」
- ・武井寛太（埼玉・埼玉県立与野高校）
「その教材はどんな歴史的思考力の育成を目指しているのか－教材共有サイトの教材を事例に－」
- ・野々山新（愛知・愛知県立日進西高校）
「教材共有サイトを利用した教師教育の模索－初任者の教材活用方法と直面する課題に着目して－」
- ・早川和彦（東京・筑波大学附属駒場高校）
「第2次世界大戦を回避するためには？－教材共有サイトの教材をそのまま使ったら－」
- ・川島啓一（京都・同志社中高）「明日の授業に困ったら part2－教材共有サイトから広がる歴史教育－」
- ・小野塚航一（神戸大学）「教材共有サイトの成果と課題－管理者の視点から－」

【コメント】 ・徳原拓哉（神奈川県立鶴見高校）

・古川隆久（日本大学文理学部）

☆人数把握のため、ご参加の方は原則として一週間前までに mkohama@gmail.com（小浜）と

kakikukeiichi@gmail.com（川島）の両方にご連絡をお願い致します。

☆教材共有サイトについてのご質問などは、dai2bukai.adm@gmail.com へどうぞ。